

目 次

はじめに

調査結果から見えてくるもの	i
1 自己肯定感	i
2 子どもの権利及び条例に関する意識	ii
3 子どもの権利侵害の実態	iii
4 子どもの居場所の実態	iv
5 子どもの参加	vii
6 おわりにかえて	vii
第1部 アンケート調査	3
I 調査概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 回収結果	3
4 その他	4
II 調査結果	5
1 川崎市子どもの権利条例	5
(1) 子どもの権利条例の認知度	5
(2) 子どもの権利条例に基づいた各制度の認知度	8
(3) 子どもの権利条例に記載されている子どもの権利で大切だと思うもの	11
2 意識・生活実態	13
(1) 自己肯定感	13
(2) 楽しく充実しているとき	15
(3) つらい体験があるか	16
(4) 権利について	17
(5) 体罰経験の有無	21
(6) 職場で子どもが自分の権利を学ぶ機会があるか	23
3 子どもにとっての居場所や活動	24
(1) 家が居場所になっているか・子どもにとって家は居場所になっている と思うか	24
(2) 学校が居場所になっているか・子どもにとって学校は居場所になって いると思うか	25

(3) 家・学校以外のホッとでき、安心できる場所	27
(4) 何でも話せる人がいるか・子どもが話したいことを何でも話せる人が いると思うか	30
(5) 学校生活にかかわることについて、学校の先生・職員、親、自分の住 んでいる地域の人たちと一緒に話し合う機会があれば発言したいと思 うか	32
(6) 地域などでの参加状況	34
(7) 川崎市の支援について	39
III 自由記述	40
1 子ども	40
2 おとな	51
3 職員	58
IV 参考資料	63
1 単純集計票	63
2 使用した調査票	98
第2部 ヒアリング等調査	129
I 調査概要	129
1 調査の目的	129
2 調査の設計	129
II 調査結果	131
1 不登校の子ども	131
2 多様な文化的背景をもつ子ども	136
3 障がいのある子ども	140
4 児童養護施設に入所している子ども	142
III 参考資料	
第2期川崎市子どもの権利委員会委員名簿	147